

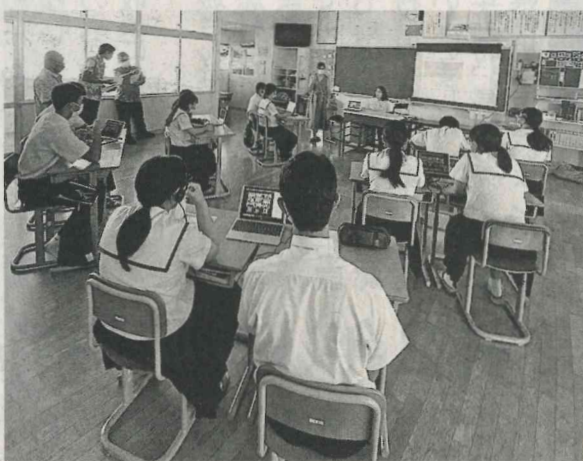
美ら島だより

ネットワーク

◆南部報道部 ☎098(8665)5163 / FAX098(8665)5176 / chinou@ryukyus
◆中部支社 ☎098(934)6500 / FAX098(938)9188 / kozai@ryukyushi
◆北部支社 ☎0980(53)3131 / FAX0980(53)5837 / nago@ryukyush

環境教育を受ける生徒たち15日、うるま市平安座島の彩橋小中学校

身近な環境問題 関心を 彩橋中 エストニアつなぎ出前授業



きつかけになれば」と話した。授業は日本・エストニア友好協会(首根原千夏理事)の協力で、WCDの発祥地でもあるエストニアの学校とオンラインでつないだ。子どもたちが互いの実情を共有し、知識と友好を深めた。

受講した森田藍友さんは「エストニアの環境に対する意識の高さに驚いた。私は島が好き。こういった授業が続くといい」と笑顔で話した。阿波根欣教諭は「初の試みで子どもたちの新鮮な反応を見ることができた」と話した。

授業の調整を担った市環境課は今後も学校で環境教育のサポートを続ける方針。ワールドクリーンアットプデー沖縄の事務局サイトを<https://agenda21.jp/wcdokinawakouhou/> (石川優子通信員)

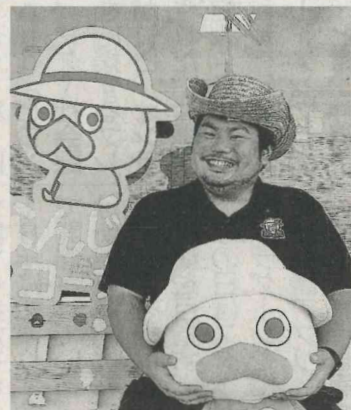
移動購買車、高齢者支援

南城・Aコープ玉城店 33集落を巡回

【南城】南城市Aコープ玉城店は、近くに店がなく買い物に不便を感じる集落で移動購買車を毎週巡回し、高齢者の買い物支援している。利用者からは「大変助かる」と喜ばれている。

原の各公民館前広場に購買車「あじまあ号」が出向いた。「あなたと私のAコープ(Aコープの歌)」の曲を

南城地域物産館マネジャーで ハイサイ



宮里 優也さん(32)

○…南城市観光協会の職員で、南城市地域物産館のマネジャーとして市の特産品などをPRしている。

県独自の緊急事態宣言によって、8月2日から9月6日まで臨時休館だった。「休館中は多くの方々から激励の電話をいただいた。営業再開を機に、南城市は元気だよというところを伝えたい」と語る。

最近ではオンラインを使った観光事業を模索している。「地元の方と観光客をオンラインでつなぎ、交流の場をつくりたい。これまでとは違った観光地の魅力を伝えていけたら」と前を見据えた。(南城)

オンラインで交流の場を

事業者に補助金や支援金などを支給する。また既存事業を拡充し、55〜64歳の市民を対象にインフルエンザ予防接種の一部助成も実施する。

新生児に10万給付

宜野湾市 来月以降受け付け



【宜野湾】宜野湾市は、特別定額給付金の対象とならない4月28日〜来年4月1日に生まれる新生児に対し、経済支援として10万円を給付する。市議会が15日の9月定例会で、同支援事業といった新型コロナウイルス対策などを盛り込んだ2020年度市一般会計補正予算案を全会一致で可決した。

新生児の給付金で、育児支援と健全育成を図ることが狙い。市健康推進部の崎間賢部長は、同日の一般質問で「10月以降速やかに(申請手続きが)実施できるよう最終調整している」と述べた。申請は郵送などで受け付ける考えを示した。伊波一男市議(公明)への答弁。



対象の新生児は出生地が宜野湾市で、過去の出生数を参考に1200人を想定している。事業費は1億2222万9千円を計上した。国の地方創生臨時交付金を活用する。そのほかに臨時交付金などを活用したコロナ対策として、市内の自治会や小中学校、市内を走る路線バス

次亜塩素酸水 北谷町に寄贈

北谷自然海塩、自社開発

【北谷】北谷の海水を原料とする「ちやんたんの塩」を販売する沖縄北谷自然海塩は15日、北谷町に自社開発の次亜塩素酸水「Zwater」を寄贈した。町は100リットルを寄贈した。町は町内の公共施設などで消毒液として使用する。Zwaterの製造は、新型コロナウイルスの感染拡大で町の観光業が大打撃を受ける中、同社に「次亜塩素酸水を作れないか」との声が寄せられたのがきっかけ。原液は100PPMの濃度で部屋の除菌のほか、消臭効果もある。

寄贈式に参加した上地勲常務取締役(写真左)は「安心安全をモットーに北谷町産で作った。いろいろな所で使用してほしい」と語った。10月上旬には県内外で販売予定だという。